

会議・打合せ等記録

市長	副市長	部長	次長	課長等	補佐	係長等	担当

報告日：平成 29 年 11 月 22 日

名称	平成 29 年度第 3 回鹿沼市環境審議会						
日時	平成 29 年 11 月 20 日（月） 午後 1 時 40 分～3 時 00 分						
場所	市役所本館 2 階 特別会議室						
出席者	別紙のとおり						
内容及び 結果等	1 開会（司会：松本課長補佐）						
	2 会長及び副会長の選出（進行：高村部長） 会長に鈴木節也委員、副会長に渡邊知義委員を選出した。						
	3 会長挨拶（鈴木会長）						
	4 諮問（佐藤市長から鈴木会長へ） 諮問内容：第 4 次鹿沼市環境基本計画に関する環境施策について						
	5 議事（進行：鈴木会長）						
	（ 1 ）協議事項						
	ア 動植物図鑑の制作・刊行について						
	（ 2 ）報告事項						
	ア 第 4 次鹿沼市環境基本計画に関する環境施策について						
	イ 公共施設省エネルギー診断の実施について						
	ウ COOL CHOICE の取組について						
	（ 3 ）その他						
6 閉会							
配布資料	別紙のとおり						
次回予定	なし						
記録者	金子						
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況 ( 該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要 )							
公開・非公開の別	公開		・ 非公開		（公開の場合）傍聴人数		0 人

## 平成 29 年度第 3 回鹿沼市環境審議会会議記録

委員氏名	鈴木	廣田	大出	松島	富久田	石川(さ)	松山	仁平	杉本	池田	石川(明)	橋本	大塚	福田	渡邊
出欠									欠				欠		

### 【事務局】

- 事務局.....高村部長、黒川課長、松本課長補佐、飯塚主査、金子主査、羽石主任主事、湯澤主事
- 環境課.....戸田主任主事
- 廃棄物対策課.....大貫課長
- 下水道課.....奈良課長
- 下水道施設課.....福田課長

### 1 開 会

### 2 会長及び副会長の選出

会長に鈴木節也委員、副会長に渡邊知義委員を選出した。

### 3 会長挨拶

副会長に選出された渡邊委員の支援と委員の皆さんの協力をいただきながら、審議会をスムーズに進められるよう、よろしくお願ひしたい。

孟母三遷という言葉がある。環境によって人は変わる...つまり、人と環境は密接なつながりがあるということ。例えば、平成 23 年 3 月の東日本大震災と福島原子力発電所事故では、再生可能エネルギーの導入について...、また、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨では、人為的な力によって異常気象の要因と考えられる地球温暖化が引き起こされているということについて...、災害が発生する度にそういった大きな課題を突き付けられてきた。「花と緑と清流のまち」を今のまま次世代へ引き継いで行くことは私たちの使命であり、当審議会の目的でもある。

### 4 諮 問

第 4 次鹿沼市環境基本計画に関する環境施策について、佐藤市長から鈴木会長へ諮問した。

### 5 議 事

#### ( 1 ) 協議事項

## ア 動植物図鑑の制作・刊行について

事務局：《黒川環境課長が資料1により説明。》

鈴木会長：斬新な取組であり、議論して行くのが楽しみである。私の地元でもビオトープを整備して、生き物の観察を続けているが、このような観点から環境を考えることは素晴らしい。

福田委員：6千種もあるとなると、掲載する対象を絞るのは難しいのでは？

渡邊副会長：我々は専門で自然の研究をしているが、初めてこの話を聞いた時、視点の鋭さに驚いた。我々が言いたいことをズバッとやってくれた。できるだけ協力したい。図鑑は、植物図鑑なり昆虫図鑑なり、個人でも持っているだろうし、学校の図書館にも揃っている。ところが、例えば子どもや一般の人が身近な花や虫をそれで調べようと思っても、調べられないことが多い。図鑑が小さ過ぎるか大き過ぎる。小学生向けの図鑑だと、種類が少な過ぎて載っていない。逆に大きい図鑑だと、北海道から沖縄までの膨大な種類が載っていて探せない。そこで一番いいのが、地域限定...鹿沼市限定盤の図鑑。昆虫の場合、県内では約1万種、鹿沼市では約3,500種いる。が、身の回りのものに絞ればもっと少なくて済む。地域限定盤は非常に使い易くて、地域の人や子ども達にとっては素晴らしいものになる。しかしながら、民間会社では売れないから作らない。市内の某小学校では、学校周りの植物の図鑑を作り、入学祝としてプレゼントしている。そこには百数十種載っているが、それで十分。素晴らしい発想だなと思う。他の自治体でも取り組んだ事例は恐らくないので、先駆的な取組だと思う。『動植物リスト』も他にはない。

廣田委員：守らなくてはいけない絶滅危惧種や増やしてはいけない外来種なども、一つのテーマとして載せたらいいと思う。

大出委員：編纂委員会のメンバーは例えばどのような人を選ぶのか？

事務局：飽くまで案として考えられるのは、そういった知識のある方でないと務まらないので、渡邊副会長のようにそういった活動に携わっている方、大学の教授、環境森林事務所のような公的機関などを想定している。

大出委員：農家では野生鳥獣などの被害が多い。そういった増え過ぎては困る害獣などを色分けするといいい。

渡邊副会長：鹿沼自然観察会では、新上殿橋と黒川橋の間の河川敷を...もう36年目になるが...観察してデータを取っており、外来種も記録している。最近では、あそこの植物の3,4割が外来種。知らない内に侵略されている。今年の秋に、川の中の魚がどうなっているか、子ども達に釣りをやらせた。63匹釣れたが、その内ウグイが4匹で、残りは外来種のカワムツだった。これほど増えていたかと、我々もびっくりした。いつの間にか足元で自然が変わっていると言うのは空恐ろしい。図鑑を作ることになったら、そういった視点も取り入れるべき。

大出委員：今は土手でもどこでもあまり草刈をしなくなった。その中で、繁殖力が強いセイタカアワダチソウが、どうなってしまうのだろうと思うほど増えている気がする。

鈴木会長：それぞれの地域で各種団体が地域環境の保全活動に取り組んでいる。芝焼きをやる自治会も、135 ある中で最近では30～40しかやらなくなった。図鑑制作に当たって、耕作放棄地対策と言う観点もあると思う。

松島委員：頒布対象は一般市民、用途は学習用などとあるが、難しいものになってしまっ  
ては見ないだろう。例えば、小学1年生でも分かるものか？一般市民が見て分かるものか？それによって図鑑がどれだけ使われるかが見えて来る。虫が好きなのは小さい子が多いが、大きくなるまでそれが継続すると言うのはなかなかない。学習が継続・発展して行くための糸口としての役割が期待される。誰もが見て分かる、使い勝手のいいものがいい。

石川(明)委員：資料に目標や制作の狙いが示されているが、図鑑を出せばいいと言うものではない。図鑑を出すことによって、市民に関心を持って貰うと言うこと。ただ、具体的行動に繋げると言うのは難しいのではないかと思う。この審議会の中で、図鑑を使ってそこまで進める...果たして話がそこまで行き着くのか?...難しい部分だと思う。

鈴木会長：図鑑制作だけで終わってはもったいないので、図鑑を使ってどう具体的行動に繋げられるか、その辺りの活用についても検討して行くことになるだろう。

仁平委員：市で図鑑を作るのはとてもいいこと。まずは知って貰うことが大切。どう言うものを作るかは皆さんの意見を反映すればいい。恐らく希少種も載って来ると思われるが、県でもレッドリストを作っているが、盗掘などの恐れがあるので地図情報は載せていない。そう言う工夫は必要になって来るだろう。6千種の中から一般的に見られるものが中心にリストアップされるのかなと思う。それでもかなりの数になるので、大変な作業になるだろう。県で平成26～28年度の3か年でレッドリストの改訂作業をやった。3年間で3,500万円くらい掛かっているかと思う。それぞれの動植物の分野ごとの専門員を委嘱して...全部で200人以上の調査員がいて...それぞれの分野の代表の方に集まって貰い、県立博物館が中心になって委員会形式で作業を進めた。レッドデータブックの方は今年か来年に発行する予定でいるが、すべて県でやるというのではなく、版は県で作って、民間会社に発行して貰うことも検討していると聞いている。役所だけだとなかなか作り難いと言うのもあって...。非常にいいことだと思うので、いいものを作って貰いたい。

鈴木会長：その他に質問等あるか？本日の意見を踏まえて、事務局の方でこの後の方向性を纏めて貰うと言うことで良いか？

一 同：《異議なし。》

## (2) 報告事項

### ア 第4次鹿沼市環境基本計画に関する環境施策について

事務局：《黒川環境課長が『第4次鹿沼市環境基本計画』及び資料2により説明。》

鈴木会長：何か質問等あるか？報告のとおり了解すると言うことで良いか？

一 同：《異議なし。》

イ 公共施設省エネルギー診断の実施について

事務局：《黒川環境課長が資料3により説明。》

鈴木会長：何か質問等あるか？報告のとおり了解するということが良いか？

ー 同：《異議なし。》

ウ COOL CHOICE の取組について

事務局：《黒川環境課長が資料4により説明。》

大出委員：こう言うことは、意識改革をしないと変えていけない。身近なところで、地区にある街灯...LED化することで電気代も安くなるので、自治会(連合会)の方で推進して貰いたい。

鈴木会長：現在進めているところであり、来年度で市内すべての街灯のLED化が完了する予定。ただ、LED化した意味を市民にしっかり伝えて行くことが大切だと思うので、自治会(連合会)の方でもPRして行きたい。意識改革を進めて行きたい。

鈴木会長：何か質問等あるか？報告のとおり了解するということが良いか？

ー 同：《異議なし。》

(3) その他

【事務局から】

- 南摩ダムに関する前回会議での質問について
- 環境講演会について

6 閉 会